

講演「低所得者の生活を直撃する物価上昇」

▶上原 紀美子さん (久留米大学教授)

報告「生活保護利用者の暮らし緊急アンケートの分析」

▶田中 武士さん (社会福祉士)

当事者の声、声、声!

北海道など寒冷地の当事者、障がいをもつ当事者、元ケースワーカー、貧困ビジネスの被害者 (いずれも予定) etc…

日時

2014年
11月5日(水)
12:45~14:30 頃

受付開始：12時30分から

場所

衆議院第1議員会館
多目的ホール

同会館ロビーで通行証を配布します。
事前申込不要・入場無料
定員200名 (先着順)

主催

「STOP! 生活保護基準引き下げアクション」

(連絡先) 〒530-0047
大阪市北区西天満3-14-16
西天満パークビル3号館7階
TEL06-6363-3310
弁護士 小久保 哲郎

【司会】
稲葉 剛
(自立生活サポートセンター
もやい理事、
住まいの貧困に取り組む
ネットワーク
世話人)

国は、史上最大の生活扶助基準引き下げを決め、3段階に分けて実行中ですがアベノミクスと消費税増税により低所得者の暮らしは厳しさを増す一方。厚労省が根拠としてでっち上げた「生活扶助相当CPI」の考え方からすれば物価上昇局面では来年の生活扶助基準は上げないと一貫しません。それなのに、厚労省は、今度は、国交省が一生懸命達成しようとしている「最低居住面積水準」について、「どうせ達成率が低いから守る必要なし」と住宅扶助基準を引き下げようとしています。更に冬場の暖房代である「冬季加算」も得意のデータ操作で引き下げようとしています。国会議員の方々に生活保護利用者の声を届け、実態を知っていただくために院内集会を開催します。

ぜひ多数
ご参加ください。

緊急 院内集会

下げるな!
生活保護の
住宅扶助基準と冬季加算
上げる! 生活扶助基準